



## 2024年6月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月13日

上場会社名 株式会社 きちりホールディングス  
コード番号 3082 URL <https://www.kichiri.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO兼COO (氏名) 平川 昌紀

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO

(氏名) 葛原 昭

TEL 06-6262-3456

定時株主総会開催予定日 2024年9月30日

配当支払開始予定日

2024年9月13日

有価証券報告書提出予定日 2024年9月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期の連結業績(2023年7月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	13,747	25.6	784		445		256	
2023年6月期	10,941	58.1	83		274		253	

(注) 包括利益 2024年6月期 235百万円 ( %) 2023年6月期 292百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	24.44	23.98	22.5	6.2	5.7
2023年6月期	25.01		36.7	3.9	0.8

(参考) 持分法投資損益 2024年6月期 百万円 2023年6月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	7,541	1,839	23.3	155.30
2023年6月期	6,793	619	7.7	51.44

(参考) 自己資本 2024年6月期 1,758百万円 2023年6月期 520百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	936	711	295	2,983
2023年6月期	395	804	696	2,458

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期		2.50		2.50	5.00	50		7.3
2024年6月期		2.50		5.00	7.50	81	30.7	7.3
2025年6月期(予想)		2.50		5.00	7.50		18.9	

### 3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	9.1	900	14.7	850	90.8	450	75.4	39.74

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年6月期	11,324,600 株	2023年6月期	10,550,400 株
2024年6月期	23 株	2023年6月期	425,823 株
2024年6月期	10,499,086 株	2023年6月期	10,124,588 株

期末自己株式数

期中平均株式数

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、社会活動の正常化が徐々に進む中で、雇用や所得環境が改善し、内需主導で緩やかな回復基調が続きました。一方で、世界的な金融引締めや円安、物価上昇等が国内景気に与える影響など、景気下振れのリスクは依然として大きく、先行き不透明な状況が続いております。

当飲食業界におきましても、行動制限緩和に伴い個人消費意欲が高まり、インバウンド需要の回復を見せつつあります。一方で原材料費、光熱費等の高騰などにより外食業界をとりまく環境は厳しく不透明な状況が続いております。

このような経営環境下、当社グループは飲食事業において、以下のとおり新規6店舗をオープンいたしました。

いしがまやハンバーグ業態では、2023年12月、愛知県岡崎市の商業施設「イオンモール岡崎」内にて、「いしがまやハンバーグ イオンモール岡崎」、東京都国分寺市の商業施設「セレオ国分寺」内にて、「いしがまやハンバーグ セレオ国分寺」の2店舗をオープンいたしました。

VEGEGO業態では、2023年11月東京都西多摩郡日の出町の商業施設「イオンモール日の出」内にて、「VEGEGO オヌレシクタン&cafeイオンモール日の出」、2024年4月、愛知県名古屋市の商業施設「イオンモール Nagoya Noritake Garden」内に「VEGEGO オヌレシクタン&cafe名古屋則武新町」をオープンいたしました。

とんかつ業態では2024年3月、埼玉県富士見市の商業施設「三井ショッピングパークららぽーと富士見」内にて、「とん久 ららぽーと富士見」をオープンいたしました。

焼き肉業態では2024年5月、東京都練馬区にて焼き肉業態の3号店、「肉の満牛萬 練馬関町」をオープンいたしました。

このように、当社グループは、KICHIRI業態・いしがまやハンバーグ業態・VEGEGO業態等、あらゆる立地に対応した様々な業態を保有しており、トレンドを的確に捉える高い業態開発力を持っています。また、従業員一人ひとりが、当社グループの企業理念である「大好きがいっぱい」を表現し、当社グループ独自の“おもてなし”を提供することで競合他社との差別化を図ってまいります。

プラットフォームシェアリング事業については、当社がこれまで培ってきたプロデュース力やコンサルティング力を活かして多種多様な分野におけるブランドホルダーとのコラボレーションを実現することで新たな顧客価値を創造し、また人々の働き方やライフスタイルの変化から生まれる様々な課題を新しいテクノロジーによって解決するDXについても積極的に推進しております。このように事業を複数展開する中、プラットフォームシェアリング事業で培ったノウハウが、日本全体の活力向上を目指す地方創生に寄与できると考え、2023年4月より、地方創生事業を行っております。

フランチャイズ事業については、ハンバーグ業態にて、西日本最大級の総合スーパーであるイズミが展開するショッピングセンター「ゆめタウン」への出店を行っております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、13,747百万円(前年同期比25.6%増)、営業利益784百万円(前年同期は営業損失83百万円)、経常利益445百万円(前年同期は経常損失274百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益256百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失253百万円)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における資産合計は7,541百万円となりました。

流動資産合計は4,270百万円となり、前連結会計年度末と比較して417百万円増加しております。増加の主な要因は、現金及び預金が525百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産合計は3,271百万円となり、前連結会計年度末と比較して330百万円増加しております。増加の主な要因は、有形固定資産が303百万円増加したこと等によるものであります。

## (負債)

当連結会計年度末における負債合計は5,701百万円となりました。

流動負債合計は2,531百万円となり、前連結会計年度末と比較して338百万円増加しております。増加の主な要因は、一年以内返済予定の長期借入金が75百万円増加、未払法人税等が60百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債合計は3,170百万円となり、前連結会計年度末と比較して810百万円減少しております。減少の主な要因は、長期借入金が762百万円減少したこと等によるものであります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は1,839百万円となりました。前連結会計年度末と比較して1,219百万円増加しております。増加の主な要因は、新株式発行及び自己株式の処分により資本金が333百万円増加、資本剰余金が529百万円増加、自己株式が170百万円減少したこと、親会社株主に帰属する当期純利益を256百万円計上したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における当社の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べて525百万円増加し、2,983百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は936百万円となりました。税金等調整前当期純利益348百万円及び減価償却費316百万円等によるものが要因であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は711百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出501百万円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の増加は295百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出686百万円、株式の発行による収入666百万円等によるものであります。

## (4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症が2023年5月8日以降、感染症法上、2類相当から5類感染症へ分類変更されたことで、3年にわたる当該感染症による行動制限がなくなり、経済活動の正常化に向かう動きが鮮明となりました。一方で、資源価格の高騰や急激な円安、異常気象、原油高等による原材料価格の高騰など依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中で、当社グループは、競争が激化している外食業界において持続的な成長を果たしていくために、多様な業態の開発を進めることでライセンスの蓄積を進め、ライセンスホルダーとして直営、フランチャイズ事業及びプラットフォームシェアリング事業の展開を図るとともに、アフターコロナという時代の変化の中で、新たなビジネスチャンスをつかむべく、柔軟かつ積極的に取り組んでまいります。

以上を踏まえ、翌期の業績予想は、売上高15,000百万円(前年同期比9.1%増)、営業利益900百万円(前年同期比14.7%増)、経常利益850百万円(前年同期比90.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益450百万円(前年同期比75.4%増)を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、また、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRSの適用については国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,458,259	2,983,497
売掛金	379,632	484,153
原材料及び貯蔵品	100,090	104,475
前払費用	133,615	160,461
預け金	148,445	181,722
未収入金	93,200	68,261
暗号資産	337,098	—
その他	202,675	287,677
流動資産合計	3,853,020	4,270,249
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,230,453	1,397,565
車両運搬具(純額)	1,140	568
工具、器具及び備品(純額)	235,654	288,753
建設仮勘定	—	84,262
有形固定資産合計	1,467,248	1,771,149
無形固定資産		
のれん	51,110	36,950
ソフトウェア	113,714	59,480
商標権	539	—
電話加入権	737	737
無形固定資産合計	166,101	97,168
投資その他の資産		
投資有価証券	117,412	117,412
長期前払費用	5,761	7,913
繰延税金資産	333,420	298,638
差入保証金	851,751	879,644
関係会社長期貸付金	—	100,000
貸倒引当金	△766	△777
投資その他の資産合計	1,307,580	1,402,830
固定資産合計	2,940,929	3,271,149
資産合計	6,793,949	7,541,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	333,698	354,987
1年内返済予定の長期借入金	699,564	775,397
未払金	332,492	376,114
未払費用	422,545	496,661
未払法人税等	46,449	106,887
未払消費税等	206,967	254,241
株主優待引当金	17,451	28,047
その他	133,907	139,238
流動負債合計	2,193,075	2,531,574
固定負債		
長期借入金	3,753,591	2,991,027
資産除去債務	127,703	150,749
長期前受収益	82,097	24,562
その他	17,544	3,688
固定負債合計	3,980,936	3,170,027
負債合計	6,174,011	5,701,602
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	381,530	714,684
資本剰余金	494,504	1,023,908
利益剰余金	△183,233	22,699
自己株式	△170,218	△9
株主資本合計	522,582	1,761,283
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,822	△2,619
その他の包括利益累計額合計	△1,822	△2,619
新株予約権	34,754	36,666
非支配株主持分	64,424	44,465
純資産合計	619,938	1,839,796
負債純資産合計	6,793,949	7,541,398

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	10,941,963	13,747,050
売上原価	3,122,725	3,864,139
売上総利益	7,819,238	9,882,910
販売費及び一般管理費	7,902,458	9,097,963
営業利益又は営業損失(△)	△83,220	784,946
営業外収益		
受取利息	820	417
受取配当金	3,820	—
助成金収入	60,279	—
受取保険金	16,521	—
為替差益	48	893
その他	9,263	1,884
営業外収益合計	90,753	3,195
営業外費用		
支払利息	21,047	19,101
暗号資産売却損	—	153,987
支払手数料	1,463	2,390
暗号資産評価損	243,921	133,111
その他	15,594	34,067
営業外費用合計	282,027	342,657
経常利益又は経常損失(△)	△274,494	445,484
特別利益		
新株予約権戻入益	47,515	—
助成金収入	12,432	—
特別利益合計	59,947	—
特別損失		
減損損失	53,817	96,592
特別損失合計	53,817	96,592
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△268,364	348,891
法人税、住民税及び事業税	43,811	93,938
法人税等調整額	△26,610	20,476
法人税等合計	17,201	114,414
当期純利益又は当期純損失(△)	△285,565	234,477
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△32,348	△22,078
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△253,217	256,555

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△285,565	234,477
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△7,379	1,473
その他の包括利益合計	△7,379	1,473
包括利益	△292,944	235,950
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△259,702	255,759
非支配株主に係る包括利益	△33,242	△19,808

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	381,530	495,518	145,919	△170,204	852,764
当期変動額					
剰余金の配当			△75,934		△75,934
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△253,217		△253,217
自己株式の取得				△14	△14
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		△1,014			△1,014
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△1,014	△329,152	△14	△330,181
当期末残高	381,530	494,504	△183,233	△170,218	522,582

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	為替換算調 整勘定	その他の包 括利益累計 額合計			
当期首残高	4,662	4,662	77,865	38,704	973,996
当期変動額					
剰余金の配当					△75,934
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)					△253,217
自己株式の取得					△14
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動					△1,014
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△6,485	△6,485	△43,111	25,719	△23,876
当期変動額合計	△6,485	△6,485	△43,111	25,719	△354,058
当期末残高	△1,822	△1,822	34,754	64,424	619,938

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	381,530	494,504	△183,233	△170,218	522,582
当期変動額					
新株の発行	333,153	333,153			666,307
剰余金の配当			△50,623		△50,623
親会社株主に帰属する 当期純利益			256,555		256,555
自己株式の処分		196,250		170,209	366,460
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	333,153	529,404	205,932	170,209	1,238,700
当期末残高	714,684	1,023,908	22,699	△9	1,761,283

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	為替換算調 整勘定	その他の包 括利益累計 額合計			
当期首残高	△1,822	△1,822	34,754	64,424	619,938
当期変動額					
新株の発行					666,307
剰余金の配当					△50,623
親会社株主に帰属する 当期純利益					256,555
自己株式の処分					366,460
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△796	△796	1,912	△19,958	△18,842
当期変動額合計	△796	△796	1,912	△19,958	1,219,857
当期末残高	△2,619	△2,619	36,666	44,465	1,839,796

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△268,364	348,891
減価償却費	210,422	316,097
減損損失	53,817	96,592
のれん償却額	14,160	14,160
長期前払費用償却額	1,128	1,946
助成金収入	△72,711	—
株式報酬費用	4,404	1,912
株主優待引当金の増減額(△は減少)	17,451	10,596
暗号資産売却損	—	153,987
暗号資産評価損	243,921	133,111
新株予約権戻入益	△47,515	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△79	11
受取利息及び受取配当金	△4,640	△417
支払利息	21,047	19,101
売上債権の増減額(△は増加)	△122,299	△104,470
棚卸資産の増減額(△は増加)	△10,384	△4,040
立替金の増減額(△は増加)	△167,899	△84,001
仕入債務の増減額(△は減少)	83,908	20,749
未払金の増減額(△は減少)	146,921	△15,830
未払費用の増減額(△は減少)	75,563	72,396
未収入金の増減額(△は増加)	△60,172	24,952
前受収益の増減額(△は減少)	△8,698	△7,872
長期前受収益の増減額(△は減少)	△48,642	△57,535
預け金の増減額(△は増加)	△8,149	△33,146
預り金の増減額(△は減少)	24,422	12,892
その他	99,644	65,935
小計	177,257	986,019
利息及び配当金の受取額	4,640	417
利息の支払額	△20,582	△17,789
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△39,897	△32,634
助成金の受取額	273,839	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	395,257	936,013
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△668,204	△501,241
無形固定資産の取得による支出	△48,349	△40,242
関係会社貸付けによる支出	—	△100,000
投資有価証券の取得による支出	△20,007	—
関係会社株式の取得による支出	△20,000	—
差入保証金の差入による支出	△60,804	△66,363
差入保証金の回収による収入	21,433	7,005
資産除去債務の履行による支出	△3,338	△5,381
長期前払費用の取得による支出	△4,860	△4,803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△804,130	△711,027
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△678,564	△686,731
自己株式の取得による支出	△14	—
自己株式の処分による収入	—	366,460
非支配株主からの払込みによる収入	57,947	—
非支配株主への払戻による支出	—	△150
配当金の支払額	△75,803	△50,353
株式の発行による収入	—	666,307
財務活動によるキャッシュ・フロー	△696,434	295,533

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,202	4,719
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,103,104	525,238
現金及び現金同等物の期首残高	3,561,364	2,458,259
現金及び現金同等物の期末残高	2,458,259	2,983,497

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年2月16日開催の取締役会において、公募増資による新株式発行及び自己株式の処分を行うことについて決議し、2024年3月5日及び4月3日に払込が完了しております。この結果、当連結会計年度において資本金が333,153千円、資本剰余金が529,404千円増加し、自己株式が170,209千円減少し、資本金が714,684千円、資本剰余金は1,023,908千円、自己株式が9千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が経営資源配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、提供するサービスの特性から、報告セグメントを「飲食事業」「プラットフォームシェアリング事業」の2つとしております。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度から、「プラットフォームシェアリング事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自2022年7月1日至2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	連結財務諸 表計上額 (注2)
	飲食事業	プラットフォーム シェアリ ング事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,725,238	203,948	10,929,186	12,776	10,941,963	—	10,941,963
セグメント間の内部売上高または振替高	—	32,318	32,318	—	32,318	△32,318	—
計	10,725,238	236,267	10,961,505	12,776	10,974,282	△32,318	10,941,963
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△86,769	△317	△87,087	3,867	△83,220	—	△83,220
その他の項目 減価償却費	174,263	36,146	210,410	12	210,422	—	210,422

(注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、フランチャイズ事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 セグメント資産の金額は、当社では報告セグメントに資産を配分していないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自2023年7月1日至2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	連結財務諸 表計上額 (注2)
	飲食事業	プラットフォーム シェアリ ング事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,331,869	398,488	13,730,358	16,692	13,747,050	—	13,747,050
セグメント間の内部売上高または振替高	—	42,582	42,582	—	42,582	△42,582	—
計	13,331,869	441,070	13,772,940	16,692	13,789,632	△42,582	13,747,050
セグメント利益	648,617	131,189	779,807	5,139	784,946	—	784,946
その他の項目 減価償却額	274,405	41,625	316,031	66	316,097	—	316,097

(注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、フランチャイズ事業を含んでおります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 セグメント資産の金額は、当社では報告セグメントに資産を配分していないため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	飲食事業	プラットフォームシェ アリング事業	その他	合計
減損損失	53,817	-	-	53,817

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	飲食事業	プラットフォームシェ アリング事業	その他	合計
減損損失	40,161	56,431	-	96,592

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	飲食事業	プラットフォームシェ アリング事業	その他	合計
当期償却費	-	14,160	-	14,160
当期末残高	-	51,110	-	51,100

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	飲食事業	プラットフォームシェ アリング事業	その他	合計
当期償却費	-	14,160	-	14,160
当期末残高	-	36,950	-	36,950

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり純資産額	51円44銭	155円30銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	△25円01銭	24円44銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	23円98円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	619,938	1,839,796
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	99,178	81,132
(うち新株予約権(千円))	(34,754)	(36,666)
(うち非支配株主持分(千円))	(64,424)	(44,465)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	520,759	1,758,663
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	10,124,577	11,324,577

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△253,217	256,555
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△253,217	256,555
普通株式の期中平均株式数(株)	10,124,588	10,499,086
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	201,030
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2018年10月19日付与 ストック・オプション新株予約 権の目的となる普通株式の数 120,000株	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。